

議会だより

声のかけ橋

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

第94号

令和8年5月1日発行
豊後大野市議会

令和8年度当初予算 2

9名の議員が市政を問う 9

キラリひと言 24

BOSTA SPORTS
FESTIVAL 2026

令和8年度予算

市長就任、10年目の節目となる予算

当初総額 **279億8,800万円**

一般会計当初予算 歳出		10万円単位四捨五入	比率	前年比
民生費	福祉などに使ったお金	87億2,100万円	31.2%	△0.9%
総務費	給与や一般的な管理事務に関する経費	42億5,600万円	15.2%	△3.9%
教育費	学校教育や生涯学習スポーツ振興など	20億4,000万円	7.3%	△5.3%
公債費	借りているお金の返済	29億1,500万円	10.4%	△0.8%
土木費	土木工事など	21億4,300万円	7.7%	1.7%
衛生費	市の衛生環境費用など	36億7,700万円	13.1%	30.3%
農林水産業費	農林業の振興のために	22億2,300万円	7.9%	7.8%
消防費	消防や防災のために	11億8,000万円	4.2%	3.7%
商工費	商工業振興や観光振興	5億2,900万円	1.9%	25.2%
議会費	議会活動の経費	1億9,600万円	0.7%	10.1%
その他	災害復旧費など	1億 800万円	0.4%	△79.8%
歳出合計		279億8,800万円	100%	1.5%

特別会計当初予算		10万円単位四捨五入	前年比
国民健康保険特別会計		41億1,600万円	△4.2%
後期高齢者医療特別会計		9億 160万円	11.0%
介護保険特別会計		64億8,000万円	△3.0%
浄化槽施設特別会計	※一般会計に移行		0.0%

計上された新規・継続事業一部紹介

総合スポーツ施設指定管理事業	7,220万円	新環境センター整備事業	91,743万円
次世代につながる集落営農 経営発展・継承支援事業	400万円	資料館運営事業	15,177万円
ヤングケアラー支援体制強化事業	173万円	総合文化センター空調機器等改修事業	7,430万円
支援対象児童等見守り強化事業	360万円	道の駅原尻の滝観光拠点再整備事業	25,200万円
定期予防接種事業 (RSウイルスワクチン・高用量インフルエンザワクチン)	1,827万円	おおいた園芸産地づくり支援事業	8,043万円
地域介護予防活動支援事業	460万円	神楽会館照明設備改修事業	2,236万円
南分署高規格救急自動車購入	4,825万円	商工業推進事業(プレミアム付商品券)	13,340万円
定住促進事業	128万円		

令和8年度の一般会計、特別会計の予算は、3月18日・19日の2日間、予算特別委員会で審査されました。令和8年度の一般会計当初予算案については、総額279億8800万円を原案通り可決しました。

現行「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2次豊後大野市総合計画」が令和7年度をもって最終年を迎えることから両計画を統合した「豊後大野市みらい戦略プラン」を策定し、この計画をもとに従来の「ゼロシーリング」による予算方式から重点事業配分方式へと変換を図り、各種事業を推進することです。

※ゼロシーリングとは、予算編成において概算要求額を前年度同額に抑える予算編成方針です。

※重点事業配分方式とは、限られた予算(財源)をすべての事業に均等に配分するのではなく、自治体や組織が掲げる最優先課題や特定の施策に重点的に財源を配分する予算編成の手法です。

一般会計当初予算 歳入		10万円単位四捨五入	比率	前年比
①市税など	みなさまからの税金	33億9,700万円	12.1%	△0.1%
	繰入金及び繰越金	22億 円	7.9%	△4.0%
	財産収入及び諸収入	3億 700万円	1.1%	8.1%
	使用料及び手数料	4億3,100万円	1.5%	2.6%
	分担金及び負担金	2億7,400万円	1.0%	△5.0%
	寄附金	2億4,100万円	0.9%	0.0%
②地方交付金	国からの配分(税金)	108億 700万円	38.6%	2.7%
③国庫支出金	国からの補助金など	38億5,800万円	13.8%	△3.3%
④県支出金	県からの補助金など	24億 200万円	8.6%	△11.0%
⑤市債	借りたお金	24億9,100万円	8.9%	25.3%
⑥その他	地方消費税交付金など	15億8,000万円	5.6%	△8.4%
歳入合計		279億8,800万円	100%	1.5%

①	自主財源(豊後大野市自前のお金)	68億5,000万円
②~⑥	依存財源(国や県からのお金)	211億3,800万円

基金残高		前年比
一般会計基金残高	151億 3,500万円	△1.5%
財政調整基金	49億 2,200万円	△9.4%
減債基金	9億 円	23.3%
特定目的基金	92億 1,300万円	1.3%
定額運用基金	1億 円	0.0%
特別会計基金合計	6億 9,800万円	△25.1%

基金残高合計(貯金)=158億3,300万円
前年度より4億5,800万円減

市債残高		前年比
一般会計市債残高	247億 600万円	△5.2%
浄化槽施設	※本年度より一般会計に移行	
上水道	25億 4,600万円	△5.6%
病院事業	17億 1,900万円	△9.7%
下水道	4億 8,400万円	△15.4%

市債残高合計(借金)=294億5,500万円
前年度より18億200万円減

●徹底審査！予算特別委員会

令和8年度の一般会計、特別会計の予算を審査する予算特別委員会が、3月18日・19日の2日間で開催されました。

一般会計、特別会計ともに、すべて可決となりました。

徹底審査！ 予算特別委員会 新年度予算審査内容を紹介

豊後大野市民病院

訪問診療の考えは。

現在市ほぼ全域で行っており、月に10件程度。体制に限りがあるが、できる限りの対応をする。

国民健康保険特別会計

歳入増額の理由は。

所得割が増額となっており、令和8年度も増となる見込み。

介護保険特別会計

介護保険運営協議会の委員数は。

12名。

地域支援事業の減額理由は。

利用実績に合わせて減額している。

上水道特別会計

地域未来交付金とは。

持続可能な地域をめざし、水道管路の診断を

し、水道基盤の強化を図るための国からの交付金。

残留塩素測定業務委託先は。

豊後大野市管工事組合。

消防業務

水道施設工事の請負費の内容は。

大野町西分署の水を確保するボーリング工事。

高規格救急車の現在の台数は。

現在4台保有。

非常備消防の被服費の内訳は。

新入団員とジュニア消防クラブ。

三重町駅前整備事業

調査設計委託料の内容は。

市道駅前上赤嶺線の事業化に向けた資料の作成業務。



▲市道駅前上赤嶺線

支障木伐採補助金

補助金は足りるのか。

昨年は1900万円の前年比で、現在102件の申請が出ており、ほぼ要望に応えられる。

橋梁点検と市道改良工事

橋梁の点検は緒方町の橋梁か。

緒方町の149の橋梁を、4分割にて点検し、修繕計画をたてる。

市道市万田支庫線道路改良工事の進捗と完了予定は。

令和7年度に事業着手し、令和13年度の事業完了をめざしている。

クラブ活動地域移行

移行になり、クラブ活動をしない生徒への居場所対策は。

学校教育、社会教育で取り組める事業、公民館や図書館での自主学習など多角的に考え、連携して実施していく。

資料館収蔵庫改修

工事の予定は。

柔道場解体工事終了後、資料館改修工事に着手する。

国際交流員は配置せず

国際交流員の予算が計上されていないが。

国際交流員は配置しない。国際交流の今後の発展と体制の構築という観点から地域人材を活用した体制へ移行したほうが望ましい。

不登校児童対策

不登校の児童生徒の数とかじかへの通室生数は。

児童は20名、生徒は44名、合計64名。通室生は20名。

体験学習の内容は。

調理実習、茶道体験、音楽活動、農園活動、創作活動など。



▲豊後大野市教育支援センターかじか

防犯カメラ購入補助

補助金の内容は。

購入、設置費用の2/3、上限2万円、60歳以上の市民または60歳以上のいる家庭へ補助。

高齢化集落支援

高齢化集落等支援事業補助金の増額理由は。

地域振興協議会など自主財源確保に取り組み団体への補助金を47万5千円増額した。

移住定住促進事業

挑戦者等マップシス

市内へ移住し、創業した挑戦者の情報や、地域振興協議会や自治会など、積極的に移住者を受け入れている地域の情報などを市の公式ラインを使って、 구글マップ上で可視化するためのシステムを構築する。

重層的支援体制整備事業

減額理由は。

令和7年度から「多機関協働事業」「参加支援事業」「アウトリーチ支援事業」を実施、うち多機関協働事業は市の直

営で事業を行うため。

子ども・子育て支援

子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業の減額理由は。

長期間、社会から孤立している人や社会参加に不安がある人に対し、人や社会とのつながりの回復、居場所づくりや就労体験などの機会を提供する事業。

子育て支援

子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業の減額理由は。

利用者支援事業へ予算配分したため。

親子関係形成支援事業

子どもとのかかわり方や、子育てに悩みや不安を抱えている保護者とその子どもを対象にかかわり方を学ぶ事業。

予防接種

肺炎球菌予防接種の種類は何を適用するのか、

また自己負担額は。

20価を適用し、自己負担額は4千円となる。

帯状疱疹予防接種の65歳以上は年齢を区切らずに接種できないか。

国の制度とおりの年齢で実施する。

残骨灰の売却

残骨灰の売却はどんな方法で行うのか。

一般競争入札で行う。

千歳特産物直売所

千歳特産物直売所の利活用は。

地籍調査を行い、境界を確定させ、活用について公募型プロポーザルで活用方法を募集する。

農村環境改善センター

長寿命化計画の前に全市的な適正化計画をたて、縮充という考え方で長寿命か廃止か検討してはどうか。

縮充という考え方も



▲農村環境改善センター

中山間地域等直接支払い

減額理由は。

参加する協定数が減少しているため。

道の駅原尻の滝

再整備工事の内容は。

レストラントラスの改修、ドッグランの設置、トイレ新築工事。

リバーパーク犬飼

改修工事の内容は。

バーベキューサイトの整備、ウッドデッキの改修、炊事棟の塗装工事。

念頭に置きながら施設の最適化を考えていきたい。

スポーツ合宿推進

スポーツ合宿誘致推進協議会は県内いくつかの自治体が加入しているか。

大分県と18自治体、そして、県スポーツ協会。負担金450万円の根拠は。

県外のプロスポーツチームが県内で合宿した場合、最大300万円を助成。県とメイン会場の自治体で1/2ずつ負担。3団体をめざしている。

ツール・ド・九州

具体的コースは。

豊後大野市と阿蘇市を発着点とし、竹田市内を通過。

企業誘致推進

企業誘致推進協議体構築運営の委託先と業務内容は。

公募型プロポーザルで選定し、産官学金のコンソーシアムの運営、資

●徹底審査！予算特別委員会

予算委員会全審査内容は、豊後大野市議会のホームページ内、「議会中継」のページよりご覧いただけます。

◆豊後大野市図書館条例の一部改正

令和9年4月より豊後大野市図書館について
指定管理者制度を導入するため規定の整備



▲豊後大野市図書館

◆豊後大野市みらい戦略プランの策定

～視点～

- (1) 人口減少に挑む！地方創生を実現する戦略
- (2) 人口減少社会に立ち向かう！
AIやデジタル技術を徹底活用するDX戦略
- (3) 次世代へつなぐ！持続可能な社会の実現を目指す戦略



◆豊後大野市介護保険条例の一部改正

地方税における給与所得控除の見直しに伴い、給与所得を有する第1号被保険者に係る
令和8年度の保険料の減免の特例を設ける
市長は、特に必要と認める者に対する令和8年度分の保険料を減免することができる。

◆豊後大野市過疎地域持続的発展計画の変更

令和8年3月31日で終了 → 令和8年度～令和12年度

- 1. 基本方針 2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 3. 産業の振興
- 4. 地域における情報化 5. 交通施設の整備、交通手段の確保 6. 生活環境の整備
- 7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
- 8. 医療の確保 9. 教育の振興 10. 集落の整備 11. 地域文化の振興等
- 12. 再生可能エネルギーの利用の推進 13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項

議案質疑の一部紹介

豊後大野市みらい戦略プランの策定

議員 答弁
「豊かなひとを育て」の中で、三重総合高校の魅力化・特色化の取組について。

議員 答弁
市内小中学校との連携により、8・9年生を対象にしたオープンスクールの実施等を行う。

議員 答弁
「分野横断的なアプローチ」という文言について、職員の連携が必要と考えるが。

議員 答弁
持続的な発展を実現するため、分野横断的な取組を進めていく。

議員 答弁
大分市及び豊後大野市における連携中核都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について

議員 答弁
連携協約の一部変更の内容について。

議員 答弁
「行政DXの推進」、「脱炭素社会の実現」、「人材等の資源の効率的な活用」、「上下水道事業の連携強化の推進」が新たに追加されている。

第1回定例会解説

第1回定例会は、3月2日～3月25日に次について審議されました

議会は通常年に4回開催され、3月議会は今年になって1回目の議会なので第1回定例会といいます。条例改正や補正予算の審議、常任委員会、令和8年度予算審議等も行いました。開会日に補正予算の採決が行われ、閉会日に全てが可決され閉会しました。
また、各常任委員会では、議案付託審査と議会版事務事業評価に対する執行部からの回答を確認しました。

議案48件、諮問2件

・条例の一部改正	10件
・条例の制定	1件
・条例の廃止	2件
・協議	3件
・プランの策定	1件
・計画の変更	1件
・補正予算(特別会計含む)	5件
・当初予算(特別会計含む)	8件
・委員の選任	2件
・農業委員会委員の任命	15件
・諮問	2件

委員の選任・任命

公平委員会委員

・安部 一彦

固定資産評価審査委員会委員

・多田 尚三

農業委員会委員

・若杉 翔子・植田 文康・後藤 綾子
・三代 忠佑・河野 邦友・麻生祐三子
・渡邊 丸美・三宮 憲治・安藤 大作
・橋本みゆき・後藤 祐司・柴山 康文
・宮成 三生・後藤 栄治・小野不二夫

人権擁護委員

・安藤 啓志・羽田野やよい

(敬称略)

開会日に上程(議事日程に組み入れて本会議の議案として取り扱う)された案件は50件。
公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任、農業委員会委員の任命については、開会日に同意されました。
3月2日開会日に、一般会計補正予算第8号、特別会計補正予算4議案が可決されました。

令和7年度一般会計補正予算(第8号)

5億2,809万2千円



《一般会計予算総額》

292億4,112万4千円

3月2日議決 第8号補正予算の一部を紹介

基金運営管理事業の増額

★令和7年度普通交付税の追加交付に伴う、減債基金への積立て今後の財政収支の見通しに基づく、公共施設整備基金の積立

□減債基金積立金

4,305万9千円 ↑

□公共施設整備基金積立金

3億円 ↑

造林事業の追加

★県の再造林整備事業の追加のため



▲造林事業 植林前の様子

2,900万円 ↑

教育・保育施設運営事業費の増額

★国が定める特定教育・保育等に要する費用の額の算定に係る公定価格の引き上げのため

6,301万9千円 ↑

地籍調査事業の増額

★国の補正予算に伴い、令和8年度予定事業を前倒しで実施するため

2億5,761万1千円 ↑

障害福祉サービス事業の増額

★障害福祉サービスの利用者数及び事業所数が増加したため

7,170万円 ↑



▲共生型サービスあつまるハウス「すまいりー」 ▲多機能型事業所「じゃんびんぐVOY」

各議員の議案に対する賛否の状況(令和8年第1回定例会)

※○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥 沓掛義範議員は議長職のため表決権はありません。

議案名	議決年月日	議決結果	新政会										創生会	れいめい会	政友会		
			後藤 雅克	衛藤 竜哉	穴見 眞児	吉藤 里美	嶺 英治	高野 辰代	工藤 秀典	佐藤 辰己	赤峰 映洋	三代 政彦	田嶋 栄一	原田 健蔵	佐藤 昭生	小野 順一	赤嶺 信武
条例の一部改正等																	
豊後大野市行政手続条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市職員の給与に関する条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市国民健康保険税条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市高額療養費貸付基金条例の廃止について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市高齢者生活福祉センター条例及び豊後大野市高齢者生活支援ハウス条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市介護保険条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市乳用牛購入資金貸付基金条例の廃止について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特別会計条例の一部改正等について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市図書館条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市火災予防条例の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市職員の定年等に関する条例等の一部改正について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般																	
豊後大野市みらい戦略プランの策定について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市過疎地域持続的発展計画の変更について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大分市及び豊後大野市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他の普通地方公共団体の公の施設を豊後大野市の住民の利用に供させることに関する協議について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算																	
令和7年度豊後大野市一般会計補正予算(第8号)	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算(第2号)	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算																	
令和8年度豊後大野市一般会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市国民健康保険特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市介護保険特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市電気事業特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市上水道特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市下水道特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度豊後大野市病院事業特別会計予算	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件																	
豊後大野市公平委員会委員の選任について	3月2日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	3月2日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市農業委員会委員の任命について(15件)	3月2日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について(2件)	3月2日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月も白熱! 一般質問 という名の 政策提案

9名の議員が登場

川野市長に、ズバッと質問ビシッと提言

3月9日、10日に行われた一般質問には9名の議員が登場し、図書館の指定管理、耐震化促進、鳥獣害対策、知名度向上策、スポーツツーリズムなど20項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。
議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることによって、一般質問の録画中継をご覧いただけます。

- 吉藤 里美 (10ページ)
 - 市周辺部の活性化について
 - 図書館の指定管理者制度について
 - 本市の農業経営体等について
- 穴見 眞児 (10ページ)
 - 子ども子育て施策について
- 原田 健蔵 (10ページ)
 - 市立図書館の指定管理者制度導入について
- 赤嶺 信武 (12ページ)
 - 企業誘致について
 - 近未来に想定される南海トラフ地震対策の住宅の耐震化促進について
- 高野 辰代 (12ページ)
 - 人口減少社会における在宅介護体制の維持と強化について
 - 「大分の野菜畑 豊後大野」を実感できる仕掛けづくりについて
 - 発達に特性のある子どもへの早期支援について
- 後藤 雅克 (12ページ)
 - みらい戦略プランについて
- 工藤 秀典 (14ページ)
 - 鳥獣害対策について
 - 通信インフラの整備について
 - 市有林について
- 嶺 英治 (14ページ)
 - 本市の知名度向上策について
 - 支所機能について
 - 耕作放棄地について
- 佐藤 昭生 (14ページ)
 - ICT・AIを活用したDXによる行財政改革について
 - スポーツツーリズムについて
 - 市内各種イベントの運営体制について

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。
一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一问一答方式で行っています。



よしふじ さとみ 議員
質問者/吉藤 里美 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 市周辺部の活性化を

答 地域の特性を活かしたまちづくりを進める

問 本市周辺の町では人口減少が著しく、合併以降の20年間の人口減少率は、朝地町が41%、緒方町・清川町が38%、大野町が34%と続いている。現状をどのように捉えているか。

まちづくり推進課長

地域コミュニティの維持や買い物物、医療施設への受診など、多くの課題や不安があることを各団体との意見交換等を通じて認識している。

問 活性化策について。

まちづくり推進課長

市内7つの町それぞれが持つ個性や強みを活かしたまちづくりを進める。



▲現在の緒方駅前商店街

問 学校体育施設の利用について、授業で使わない時間帯の開放はできないか。

社会教育課長

学校教育に支障がない範囲で関係課や学校と協議し、検討したい。

問 体育施設には65歳以上の減免があり、学校体育館にはない。老朽化等により体育施設が廃止になった場合、同基準の減免を適用したほうが良いと思うが見解は。

社会教育課長

不均衡が生じないよう関係課と調整して検討を進めたい。

問 町によって施設整備の差が大きい。少しでも改善すべきではないか。

社会教育課長

当面は維持・補修を継続することとなっているため、現地調査や関係課との調整を図りながら検討していく。



あなみ しんじ 議員
質問者/穴見 眞児 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 子ども子育て施策について

答 必要な施策を実施していく

問 出生数や定住促進への効果は。

子育て支援課長

出生数は令和5年120人、令和6年97人、令和7年100人となっている。保育料の完全無償化やきらきら支援金等の施策を実施している。

問 経済的支援や保育・教育環境・相談体制の充実。

子育て支援課長

保育の質向上や保育士の処遇改善、施設整備を推進するとともに、子育てに関する相談体制の充実を図るため子ども家庭センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談体制の充実を図っている。

問 清川町こども園廃止への対応は。

子育て支援課長

清川町こども園の廃止については、新規入園が見込めない中、経営の継続が困難である旨の相談があった。利用定員の見直しや給付費の改定、分園化の検討などの提案をしたが、運営事業者の経営判断により閉園となった。今後も、地域の保育が必要な方々へのサービス利用の確保に努めていく。

問 今後の重点施策は。

子育て支援課長

今後も、不妊治療費助成や支援の継続、保育・教育環境の質向上、障がい児支援や子どもの居場所づくりの推進、出生率向上と定住に寄与できるような必要な施策を実施していく。



▲一か月健診の様子



はらだ けんぞう 議員
質問者/原田 健蔵 (れいめい会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 図書館の指定管理制度の導入について

答 市と指定管理者の方向性を調整する

問 県内での導入状況は。

社会教育課長

県内では、佐伯市と豊後高田市が導入。祝日の開館や開館時間の延長など、利用者のサービス向上が図られている。

問 図書館の利用状況ならびに収集・提供状況は。

社会教育課長

令和6年度は、開館日数が年間282日、来館者数は6万2641人、貸出冊数は15万5334冊、市民一人当たり4.9冊、現時点での蔵書冊数は15万4142冊。

問 図書館の役割と管理運営の基本について。

社会教育課長

令和8年3月策定の「教育みらい創造プラン2026」において図書館は「知の拠点」として

位置づけられており、市民の学び場の提供や文化の発展に寄与し、居心地の良い滞在型の図書館運営を図る。指定管理者もこのプランに沿って図書館運営を行う。

問 図書館の持つ本来の役割を指定管理導入後も担えるのか。

社会教育課長

外部委員で構成される図書館協議会を導入後も継続して開催し、大分県公共図書館等連絡協議会への参画。

加えて市と指定管理者の政策の方向性を調整するため毎月の定例会議を開催し、運営調整を図っていく。



▲豊後大野市図書館



あかみね のぶたけ 議員
赤嶺 信武 (政友会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 企業誘致について

「企業誘致推進協議体構築運営業務」を実施し、戦略的な誘致の推進に取り組む

問 推進プランの策定から1年が経過した。企業誘致の現状は。

商工観光課長 開発予定地に関してドローンを活用した測量及び写真撮影を実施した。

商工観光課長 まちなか商店街の空き店舗を活用して、小さな1丁関連のソフト企業も誘致してはどうか。

商工観光課長 どのような空き店舗があるか調査・研究していく。一方、市内企業のDX化による成長促進を図るため、cocomioでIT人材育成事業に取り組む。

問 策定に取り掛かって2年経過するが、この間、調査したことは何か。



近未来に想定される南海トラフ地震対策の住宅耐震化促進について

問 耐震化補助金150万円以内でできるローコストな工法が開発されている。積極的にPRしてほしい。

建設課長 「木造住宅耐震リフォーム達人塾」や「低コスト工法相談会、耐震キャラバン」など建築関係者や市民へ広くPRを図っていく。

*コンソーシアムとは共通の目的を持つ複数の組織が特定の目的を達成するために協力する共同体。



たかの たつよ 議員
高野 辰代 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 人口減少社会における在宅介護体制の維持と強化の方法は

第10期介護事業保険事業計画策定において慎重に審議

問 在宅介護サービスの現状は。

高齢者福祉課長 要介護1、2が最も高く、サービスを利用する方は増加傾向。

問 シニア世代の活躍の場の提供と情報発信の方法は。

高齢者福祉課長 シニアクラブ会員の活動、生活援助サポーター事業や介護予防支援ボランティアのいきいき生活応援隊を市報などで情報発信。

「大分の野菜畑 豊後大野」を実感できる仕掛けづくりについて

問 第5次豊後大野市農業振興計画における「大分の野菜畑」の位置づけは。

農業振興課長 園芸作物の生産振興のキャッチフレーズとして位置づけ、引き続き産地化、ブランド化に取り組む。

発達に特性のある子どもへの早期支援について

問 本市の支援の現状について。

社会福祉課長 児童発達支援センターを中心に、専門的な療育支援を行っている。

問 利用したい回数と受入回数のバランスはとれているのか。

社会福祉課長 おおむね保たれていると認識。いざというときに受け皿がないようなことは避けるべき。市の考えは、必要な支援体制の確保に努める。



豊後大野市障がい者基幹相談支援センター



ごとう まさかつ 議員
後藤 雅克 (新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 本市が特に重点化すべき分野は

人口減少対策に集中的に取り組む

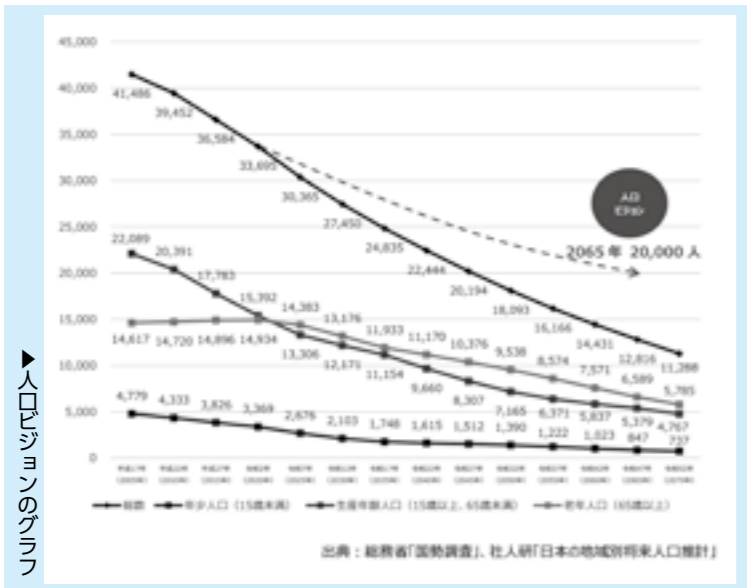
問 「みらい戦略プラン」はこれまでの総合計画と総合戦略を一体化し、人口減少対策に軸足を置き、体系的に整理した点は、大きな前進と評価する。しかしながら、本市を取り巻く現実が極めて厳しい。人口減少は加速し、地域経済も縮小傾向にある。その点、

◇人口ビジョンの根拠と実現可能性は
◇政策の選択の集中は
◇成果指標(KPI)については
◇若者定着と所得向上戦略について

まず「へり」推進課長

まず、2065年を目標年度に本市の人口ビジョンは2万人と野心的に高い目標を掲げた。

重点化する分野は人口減少対策に集中的に取り組む。KPIの設定は、企業面談数など活動指標を設定している。現状把握と進捗管理を可能とするため。一方で、政策の成果は、雇用純増数や若年層定着率、所得水準の向上といった成果指標と認識している。若者の定着と所得向上は、地元企業との連携強化、人材育成支援、付加価値の高い産業振興などを通じ、就業機会の確保と質の向上に取り組む。本プランは将来を受け身で捉えるのではなく、持続的発展を実現するための実行戦略であり検証と改善を重ねながら取り組む。





質問者／**工藤 秀典** 議員
(新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 市有林について

答 調査・研究していく

問 市が有しているクヌギ林の面積はどれくらいあるのか。

農林整備課長

本市所有115.45ha。現在は森林経営計画に基づき、大野郡森林組合と森林経営委託契約を締結し管理している。木材としての需要が高く、売却益が見込まれるスギ・ヒノキの人工林整備を優先していることから、クヌギ林の整備が追いついていない状況。今後は整備の可能性や管理手法について、調査・研究していく。

鳥獣被害対策について

問 鳥獣被害対策実施隊員の活動状況について。

農林整備課長

鳥獣被害対策実施隊員は、各町2人の計14人を配置し、住宅地や農地周辺において、有害鳥獣出没時の追い払いや、わな等の設置を行うとともに、定期的な見回り活動を実施。



▲鳥獣害防止柵 (グリーンファーム中野)

通信インフラの整備について

問 通信インフラの整備について。

総務課長

通信インフラは、農業や防災、移住など、いずれの分野においても今後の地域づくりにかかせない基盤である。今後も、光ケーブル網の安定した通信環境の維持管理に努めるとともに、携帯電話がつながりにくい地域があれば、事業者に対して改善に向けた働きかけを行っていく。



質問者／**額 英治** 議員
(新政会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 本市の知名度向上策について

答 情報発信の手法や戦略にはさらに工夫と強化が必要

問 本市の知名度向上の取組は。

まちづくり推進課長

ジオパークやエコパークとアウトドアサウナを核に、スポーツツーリズムに取り組むことで野球やサッカーに加え吹奏楽の合宿地としても評価を得るなど、強みが着実に広がっている。成果は見られるが「十分に知られていない」という課題はある。

問 ジオパークについて、川床本来の姿に戻す取組で魅力発信できないか。

商工観光課長

一枚岩の川床が各所に見られ重要な見どころではあるが、土砂の堆積などで景観が見えにくい状態となっていることも事実。まずはガイドブックなどを通じて魅力を紹介したい。



▲河川に堆積する土砂 (緒方川原尻の滝上流)

支所機能について

問 支所窓口で対応できないことは。

総務課長

「パスポートの申請」と「農地売買の受付」。

耕作放棄地について

問 解消策として新たな対応は。

産業建設統括理事

市単独事業で新たな実施は困難なことから、県農地中間管理機構による遊休農地解消対策事業や中山間地域等直接支払制度の荒廃農地の解消を行うメニューがあるので、制度の詳細について周知していく。



質問者／**佐藤 昭生** 議員
(れいめい会)



議員の一般質問の様子が
ご覧いただけます

問 ICT・AIを活用したDXによる行政改革について

答 持続可能な行政デジタル化を推進する

問 住民サービス向上との関係について。

総務課長

オンライン申請の拡大により、来庁せずに転入・転出の手続きが可能になるなど、利便性の着実な向上が図られている。加えて、本庁・支所における窓口証明書等のキャッシュレス納付の導入や行政手続のオンライン化に合わせ、税金等のオンライン納付についても24時間対応の実現に取り組んでいる。今後も、市民目線を重視し、誰もが利用しやすい行政サービスの実現に努める。

スポーツツーリズムについて

問 スポーツ合宿・大会誘致について。

商工観光課長

市内に宿泊する団体に対して宿泊費の一部を助成する取組や、市外の方が一定数参加するスポーツ大会の主催者や参加者に対して市内の特産品を贈呈する事業を実施している。

市内各種イベントの運営体制について

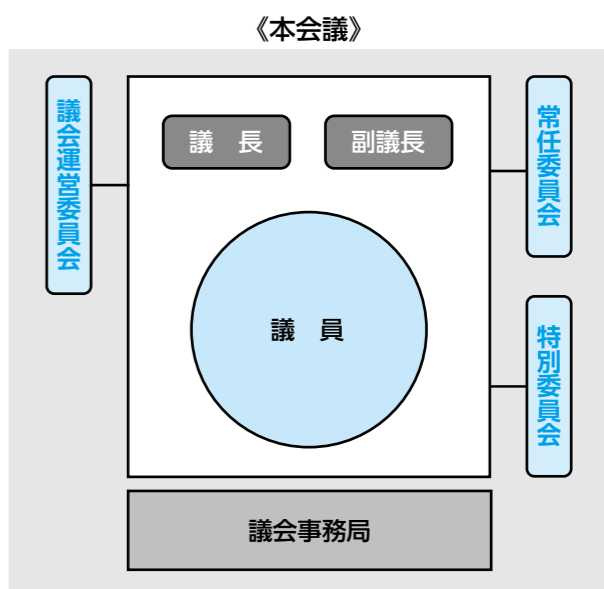
問 今後の各種イベントの企画・運営を段階的に観光協会に委託していく考えはないか。

商工観光課長

観光協会は、観光振興や情報発信を専門的に担う団体であり、民間的な発想や機動力を活かした事業展開が期待されている。



▲豊後大野市観光交流センター (JR三重町駅内)



「委員会付託」って何？

たくさんの議案について、各常任委員会に、担当の分野ごとに調査や審議を任せると「付託」といいます。他の委員会の議案について質疑がある場合は、議案質疑の日の前日正午までに、議会事務局に質疑を提出することで、付託される前に、執行部に質問できます。その後、各委員会で付託された議案について、審査し、委員会としての可否を決定します。議決の日（閉会日）に、審査内容を各委員長から報告し、議員全員の賛否を示して議案が成立等します。

委員会とは

議会の内部組織として、本会議における審議の、予備的審査、調査機関として設置される委員会のことです。委員会の種類は、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の3種類があります。

常任委員会とは

常任委員会は、地方公共団体の議会が一定の部門の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行うため、条例で定めて常設する委員会のことです。

豊後大野市議会では、総務常任委員会、厚生文教常任委員会、産業建設常任委員会、産業建設常任委員会が設置されています。今定例会で各委員会に付託された議案は次の通りです。

- ・総務常任委員会10議案
- ・厚生文教常任委員会6議案
- ・産業建設常任委員会2議案

特別委員会とは

議会運営委員会、常任委員会のほかに、特定事件を審査するために設置される委員会のことです。（議会活性化委員会、議会広報編集特別委員会等）

テント型サウナなどの設置に条件が加わる。

総務常任委員会

国民健康保険税条例の一部改正について

子ども・子育て支援納付金制度により医療保険者に子ども・子育て支援納付金を納付する義務が課されたことから、国保加入者より現在徴収している医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分と一体的に子ども・子育て支援納付金分を徴収するため。

所得に応じた均等割、平等割の軽減については、今までの保険税に適用された同じ軽減と考えるのか。

これまで、2割、5割、7割軽減と同じと考えていただきたい。

職員の給与に関する条例の一部改正について

一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴い通勤手当の額を規則

で規定するとともに、新たに自動車等利用者の駐車に係る手当を上限5千円と規定するため。

公共交通機関の利用者と自家用車通勤の方の職員数は。

公共交通機関を利用している職員数は7名。自動車を利用している職員数は345名。

火災予防条例の一部改正について

現行のサウナ設備の基準は、浴場等の建物内に設置することを想定したものとされているため、屋外のテント等に設置される消費熱量が小さいサウナ設備、簡易サウナ設備に適用される基準を定める必要があるための改正。温度が異常上昇した場合にその熱源を遮断できる装置を設けることなどの基準が加わった。

市内には、サウナ施設はいくつあるのか。

公衆浴場として届出が5事業所。簡易サウナ設備として、4事業所を確認している。

市が補助金を出して新たに簡易サウナを設置したところも届出が必要か。

令和8年3月31日から届出は必要となる。



▲テントサウナ（ロッジきよかわ）

「付託案件の審査結果」議案10件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとなりました。

施設活用方法の早急な検討を！願う

厚生文教常任委員会

豊後大野市高齢者生活福祉センター条例及び豊後大野市高齢者生活支援ハウス条例の一部改正

犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘は、近年入居者が年々減少し、令和7年10月には0人となり、今後も施設の利用ニーズ及び有効活用が見込めないため、本年度をもって廃止するため。

入居を希望する高齢者に対する今後の対応は。

清川町と朝地町に生活支援ハウスがある。また、養護老人ホーム常楽荘を活用し、地域の高齢者の方々が安心して生活を送れるように対応していく。

廃止した後の建物の活用はどう考えているのか。

豊後大野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
令和8年4月1日から開始する月一定時間までの利用可能枠の中で、就業要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度。



▲犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘

今後検討する。

ふれあい荘は耐用年数に達しておらず、十分活用できる。今後の利活用については、高齢者福祉課だけでなく、市全体で早急に検討を進めていただきたい。

具体的にどういう制度なのか。

保護者の就労によらず、毎月10時間を限度に教育保育施設を利用できる制度。

図書館条例の一部改正について

豊後大野市図書館について、指定管理制度を導入するため規定の整備をする必要があるため。

指定管理を導入するメリットは。

開館日や開館時間がふえること、また民間事業者のノウハウを生かした教室や事業の展開が見込め、より魅力的な図書館運営ができる。

「付託案件の審査結果」議案6件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとなりました。

乳用牛購入資金貸付基金条例は廃止

産業建設常任委員会

豊後大野市乳用牛購入資金貸付基金について

市内で酪農を行うものに乳用牛の購入費用の貸付を行うために設置された基金で旧大野町において設置され町合併時に引き継いだ。合併以降、当該基金の活用はなく、今後の活用も見込まないことから、当該基金を廃止したいため。

現在、豊後大野市において酪農家戸数は何戸あるのか。

令和8年3月現在1戸である。

当該酪農家はこの基金を活用することはいいのか。

大分県酪農協同組合に、市の貸付より高額な貸付が受けられる制度があり、市内の酪農家1戸についても、その貸付

豊後大野市特別会計条例の改正について

市町村設置型浄化槽事業の規模縮小に伴い、豊後大野市浄化槽施設特別会計を廃止し、一般会計へ移行したいため。

浄化槽は、元々何基あったのか、まだ個人移譲されていない分は何基あるのか。

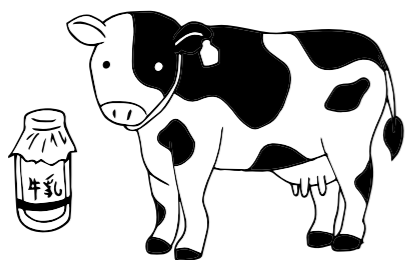
当初662基あった。個人移譲ができていないものは、現在104基。その内、稼働中の基数は74基となっている。

なぜ公営企業会計に移行せず一般会計に移行したいのか。

公営企業会計に移行するとシステム改修等で

1230万円ほど初期費用がかかる。また3年から5年ごと経営戦略の見直しにかかる費用、事務負担も増大する見込みであり、一般会計に移行することが望ましいと思われるため。

「付託案件の審査結果」議案2件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきものとなりました。



事務事業評価

執行部の回答は……

令和7年9月定例会において各常任委員会で事務事業評価を行い、評価報告書を執行部へ渡し、改善策や次年度の予算への反映状況などを報告するよう求めていました。

今回、評価報告書に対する回答が執行部からありましたのでご紹介いたします。なお、評価報告書の詳細は議会だより声のかけ橋第92号に掲載しています。

評価報告書の概要

総務常任委員会	厚生文教常任委員会	産業建設常任委員会
<p>◆【調査事業】 定住促進事業 【事業結果の評価】 おおむね適正 【今後の方向性】 継続</p>	<p>◆【調査事業】 飲料用施設 改善補助事業 【事業結果の評価】 良好 【今後の方向性】 継続</p>	<p>◆【調査事業】 森林経営管理事業 【事業結果の評価】 良好 【今後の方向性】 拡充</p>
<p>◆【調査事業】 防災対策事業 【事業結果の評価】 良好 【今後の方向性】 継続</p>	<p>◆【調査事業】 学校部活動 地域移行推進事業 【事業結果の評価】 おおむね適正 【今後の方向性】 改善</p>	<p>◆【調査事業】 特産品販路拡大事業 【事業結果の評価】 良好 【今後の方向性】 拡充</p>

総務常任委員会

【事業名】
定住促進事業

【回答(抜粋)】

移住者と地域の良好な関係の構築については、先輩移住者等の情報を市移住定住ポータルサイト等で紹介したり、移住促進に取り組みむ自治会・地域振興協議会等の団体と連携を図るなど、移住相談できるサポート体制づくりを進めます。空き家登録物件については、引き続き空き家意向調査の対象者に対し物件登録の働きかけを行い、自治会等に対しても情報提供の呼びかけを実施し、物件登録数の増加に努めます。それと同時に市内在住者が市外に転出しな

い施策や働く場の確保についても関係部署と連携を図りながら進めていきます。



▶移住してきた國竹さん一家

【事業名】
防災対策事業

【回答(抜粋)】

地球温暖化等の気候変動により激甚化している豪雨災害、今後30年以内に60〜90%以上の確立で発生すると言われていた南海トラフ巨大地震等に備え、「豊後大野市地域防災計画」に沿った防災対策を継続実施します。

そして、国や県の計画に沿った修正・見直しを随時行い本年11月に設立予定の防災庁の動向に注視し、死傷者や被災者を大幅に低減させる事前防災等の取り組みを行います。

また、防災対策として、特に重要となる自助・共助の取り組みを進めるため、自主防災組織の活動促進、防災士のスキルアップ、防災アドバイザーによる防災講習会、防災講話等の取組みの充実、市民の防災意識の向上にも努めます。

公助の取り組みについても災害対策本部設置運営訓練や避難所開設運営訓練等の職員を対象とした訓練の実施、「豊後大野市災害時職員初動マニュアル」の周知等により職員のスキルアップ、防災意識の向上に努めます。

厚生文教常任委員会

【事業名】
飲料用施設改善
補助事業

【回答(抜粋)】

本事業は、令和5年3月に補助率を1/3から1/2に見直し、2世帯以上の補助金額を200万円から250万円、1世帯については30万円から50万円に補助内容を変更しました。今後についても安全な飲料水の供給と生活環境の改善を図っていきます。

【事業名】
学校部活動地域移行
推進事業

【回答(抜粋)】

学校部活動の地域展開を推進するにあたり、新しい組織「Active Bungono Club（通称A B C）」を設立します。保護者負担については

スポーツ・文化芸術活動の種目により経費が異なるため、各種スポーツ・文化芸術団体ごとに協議を進めています。A B Cに様々なスポーツ・芸術団体が加入することで、各団体への補助や施設使用料軽減により、保護者の経済的負担軽減に努めます。

学校部活動とは異なり、市内の各種スポーツ・文化芸術活動に加入できるため、こどもたちは希望するものを選択することが可能になります。さらに、専門的な指導を行うことで、こどもたちの競技力向上を図ることができ

ます。指導者の確保については、学校、地域、各種スポーツ・文化芸術の団体と連携しながら、地域の有望な人材の発掘と育成に向けた取組を行います。また、大分県の人材バン



▶第10回大分県地域選抜中学校ソフトテニス大会女子の部優勝豊肥地区選抜チーム



▶令和7年度大分県中学校駅伝競走大会優勝三重学園三重中学校駅伝部(男子)

産業建設常任委員会

【事業名】
森林経営管理事業

【回答(抜粋)】

本事業の推進にあたって、大分県森林環境譲与税ガイドラインに沿い、省力化による森林整備や林業の担い手の負担軽減に資する制度に森林環境譲与税を活用してまいります。

また都市圏の森林環境譲与税を活用し、都市部の子どもたちの木育として、市内森林での間伐や再造林の見学・体験を行うことも可能と考えています。

【事業名】
特産品販路拡大事業

【回答(抜粋)】

本市では、市内で生産された農産物等を活用した加工品等の商品をブラ

ンドとして確立させ広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化、販売戦略の構築を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させることを目的に事業を推進してきました。

現在、認証商品数50品目を目標に特産品の認証に取り組んでいます。その結果ブランド認証品は、17事業所、34品目となり、地域資源を生かした優れた商品を揃えているところとです。

今後の取組として、1.「新たに豊後大野市といえど〇〇といったような、特有の物産品の調査・研究・開発への取組」については、現在の認定農業者や関係開発機関等と協議しながら、豊後大野市ブランドの確立を目指します。

2.「専門家の意見を取り



▶豊後大野市ブランド認証商品(株式会社 茂里商店)

2025市民と議会の意見交換会での意見に対する 執行部回答と常任委員会 調査結果公表

執行部回答

コミタクの利用方法、運行地域の拡大と地域主導によるライドシェアへの取組について

【意見・質疑】

「コミタクの利用申込みは、スマートフォンのアプリを利用しないといけない。コミタクを利用するのは、運転免許証を返納した方や運転免許証を持っていない高齢者が多いと思うが、高齢者がスマートフォンでのアプリを使いこなすというのは難しいのではないかと。利用者が増やすためにも電話予約などの方法もできないか。今は清川町の一部と千歳町でしか運行されていないが、ぜひ他の町でも運行していただきたい。また、公共交通の手が届かない部分を地域主導のライドシェアで補えないか。市内でも地域に

よって事情は異なると思われるので、それぞれの地域の住民を中心に民間主導で実施できないか。

【回答】

令和7年3月から千歳町の全域と清川町の一部地域において実証運行を開始している。LINEアプリを使って予約し、その予約状況によりAIが配車やルート設定を行い、自宅から目的地の玄関前まで、ドア-to-ドアで運行している。これは、AIが配車やルート設定を行うため、LINEアプリで予約を行う必要があり、電話での申込みは受け付けていない。そのため、スマホ教室を開催している市社会福祉協議会と連携し、対象地域の高齢者の方に、初期設定や予約方法の説明を行っている。他の町での運行は、令和8年2月から、清川町の白山地区と三重町の一部地域に運行区域

総務常任委員会調査

「コミタクを電話で受付する方法はできないか。」

【調査内容】

市民と議会の意見交換会でコミタクのアプリは使いづらいという意見があり、市に回答を求めたが回答としては従来どおりということ。電話受付する方法はできないか。

【調査結果】

執行部は、電話予約を始める、次も電話予約となり、位置情報を設定していくことが困難であるため、アプリの利用をお願いしている。また、電話予約で対応している自治体の多くは、自宅まで「コミタク」が行かない。非常に身近なLINEアプリを利用することを理解いただきたいということだが、市民の要望は電話予約である。委員会としても、電話予約との併用実験も行うように、強く申し入れた。

「ライドシェアが最終的な命綱になってくるのでは。引き続き検討を続けたい。」

【調査結果】

実際のところ、市内でライドシェアができるかという点にハードルが高い。

現在、県下でおこなっているのは、ポランティアによる輸送。ただ問題も非常に多く、ポランティア輸送になると、なかなかお客さんに運賃をいただくにくい。実費しかもらえないということ、利益が欲しいという声を伺っている。いろんな調査を今後も引き続き行い最善解を探していきたいと執行部は考えている。

委員会としても、地域振興協議会の力も借り、高齢者が安心できる公共交通豊後大野市版が実現できることを要望した。

執行部回答

少子化対策と清川町の保育所の設置について

【意見】

清川町にあった保育園が閉鎖され、保育園が1園もない状態。令和7年4月の市長と意見交換会で、今後どうしていくか検討してほしいと依頼しているが、未だに回答がない。

各町に学校が設置されている間は、1つは保育園を残さないと、子育て施策をいろいろしているが、保育園がなくなるとしてしまい、子供がいなくなれば、そんな施策をしても何の意味もない。

他市では社会福祉協議会と協力して、小規模保育所として運営しているところもある。そういったところを参考に各町に1園は残して、子育てし

やすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

【回答】

昨年4月の意見交換会時に出席された、保育園の設置に関する検討依頼を踏まえ、教育保育施設等の運営基準、現在の利用状況、保護者の教育保育施設等の選択動向を基に検討を進めてきた。清川町内においては、令和6年度末をもって、これまで運営してきた私立認定こども園が、経営継続が困難であることなどを理由に撤退した。

これを受け、当該認定こども園は、在籍する保護者を対象に説明会を開催し、各保護者の意見を基に、同法人が運営する系列施設や近隣の教育保育施設等への転園をお願いし、現在に至っている。本市における公立認定こども園については、小学校就学前のこどもに

対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を行うため、幼保連携型認定こども園として豊後大野市おがたこども園を設置し、市内外の入所要件に該当する就学前のこどもに利用されている。

教育保育施設等の利用に係る保護者の選択理由には、入所希望のご家庭毎にさまざまであり、自宅や職場からの通いややすさ、教育保育方針や保育内容への共感、一定の集団としての遊びや活動を通して人と関わる力や社会性を育みたいなどとなっている。

このような状況に加え、今後の入園者数の推移や市内教育保育施設等利用状況を踏まえると、新たな教育保育施設等の設置は困難と考えている。

大野町旧西部小学校の跡地利用について

【意見】

大野町の旧西部小学校の旧校舎は、以前「ひつぎ」の製造、販売をする法人が利用していたが、地元の住民が、知らない間に退去していた。なぜ退去したのか、また、今後の跡地利用についてどう考えているのか。

地元への説明会を市の管財係へ依頼しているが、未だ何の返答もない。

住民は旧西部小学校の跡地が荒れていくのでは心配している。

【回答】

退去については、契約の満了によるもの。今後の跡地利用については、現在、投票所となっている旧ランチウムを含めた一体的な活用を検討していく。

道の駅きよかわにあるステージの修繕について

【意見】

道の駅きよかわにある屋外ステージの屋根が傷んでいるので、早急に修繕をお願いしたい。

【回答】

令和7年12月26日に現地を訪問し、状況を確認した。

令和8年1月6日に指定管理者と面談し、今年度のステージイベントの利用状況を聞き取った結果、年間2回程度の利用状況。

今後、改めて指定管理者と協議し、修繕について検討していく。

*その後の調査を踏まえ、修繕の方向で協議が始まる。議会として、引き続き、調査の必要な事業等については、調査研究を行い、本会議、委員会、また一般質問等を通じて確認していく。

※執行部からの回答は、豊後大野市議会のホームページに掲載中。



豊後大野市認定農業者連絡協議会と 産業建設常任委員会の意見交換会開催

令和8年2月4日委員会室において、豊後大野市認定農業者連絡協議会（出席者14名）と産業建設常任委員会（出席者5名）の意見交換会が行われました。

協議会側より五つの項目として

1. 市議会の姿勢について
基幹産業である農業に
関しての議会での一般質問がないのはなぜか等の
意見がありました。

2. 農業支援・補助について

3. 農地管理・耕作放棄地対策について

農機バンクの創設、水田農業の振興や農業の持続的発展のあり方についての討論会の開催等の意見がありました。

耕作放棄地にならないための補助制度の創設や相続登記義務化について何か



▲認定農業者連絡協議会との意見交換会の様子

対策があるのか等の意見がありました。

4. 鳥獣害対策について

鳥獣害対策として議会において提案議題に上がったことがあるのか、

鳥獣害ネットの下側のコンクリートを張るのに補助をお願いしたい等の意見がありました。

5. その他に関することについて

農業に関する一般質問は多くの議員が行っていることを申し上げ、市議会産業建設常任委員会としての即答できる部分は即答し、議会にて意見・質問等まとめて市執行部へ提言していく方向で意見交換会を終了しました。

身近な困りごとを真剣に討論

シニアクラブ豊後大野連合会と 議会との意見交換会

2月20日、シニアクラブ豊後大野連合会と議会
で意見交換会が、市役所本庁5階の委員会室において開催されました。

シニアクラブ豊後大野市連合会は、各町に支部があり65の単位クラブがあり1927人で構成されています。近年会員数が減少傾向にあり、運営の維持に苦労しているため、会員の加入を呼びかけています。

以下、主な意見です。

■原尻会長のあいさつより
会員は減少傾向にあるものの1927人の会員が、「延ばそう健康寿命」、「担おう地域づくり」をテーマに活動を続けており、生きがいになっていく。意見交換会を通じ、シニアクラブへ心を寄せていただき、行政に声を届け、反映させていただきたい。

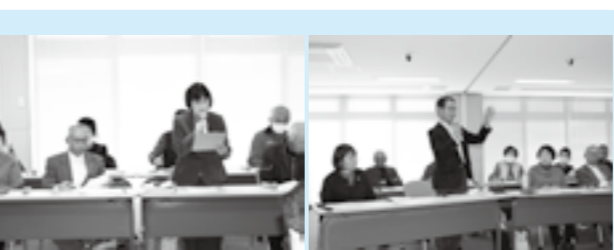
■支部ごとで出身議員との交流について。
支部ごと出身議員

意見

員と膝を突き合わせての交流会を希望する。
【議員】各支部で企画し、地元の議員に声をかけていきたいと思います。

■市道の整備、安全確保対策について。
【意見】市道に雑草が生い茂って、杖をつけて歩く人にはとても危険。改善について話し合いをすすめてほしい。

■研修や地域で気軽に利用できる車の配置の検討について。
【意見】研修旅行などに民間のバスは高額である。県内では市のマイクロバスや社協のバス等活用しているクラブもある。利用できるいい方法はないか知恵を借りたい。また、コミタクが利用されているが、価格を安くして全市にひろげてほしい。



▲シニアクラブ豊後大野連合会と意見交換会の様子

【議員】伐採等については建設課にもお願いをしている。区長を通して挙げたい。

【議員】コミタクはアプリの使い方がわからない高齢者が多いので、電話対応ができないかとまちづくり推進課に意見を出した。今の状況では厳しいけれど、ちょっと検討させてほしいとのことだった。市の方針としてはこれから全市的にコミタクを拡げていく予定。

インターネットは常に進化している

利用者も進化しなければ対応できない

人権研修会開催される

令和8年1月26日
テーマは「インターネットによる人権侵害」新たな部落差別の姿
として、市役所人権・部落差別解消推進課の宮崎勝一氏を講師として実施されました。

まずインターネットには様々なサービスがあるが、ダークウェブ（匿名性の高い違法行為の温床）、フィッシング詐欺（実在の企業を装った）、ワンクリック詐欺（高額請求につながる）、個人情報漏洩（カード情報などの漏洩）、SNSでの人権侵害（誹謗中傷、いじめ）、などの間の部分も有している。

部落地名創刊事件
「法務省が10年かけて回収、焼却処分」

1975年「部落地名総鑑」事件発生。全国の企業や興信所が「部落地名総鑑」を所有していたことが発覚。

全国各地の被差別部落の地名が掲載されていた。約40年経過した、2016年「復刻版 全国部落調査」出版事件が発生。川崎市の出版社が「全国部落調査」をデータ化し、アマゾンで復刻版の刊行を予告。41都道府県の被差別部落の情報を掲載。運動体などが出版停止を求め、横浜地裁による出版禁止の仮処分にもかかわらず、WEB上に書籍のPDFデータや運動体関係者の個人情報掲載を掲載していった。

8年間の時間を費やした末、2024年12月やっと最高裁判所にて出版社の上告が棄却され、東京高等裁判所の判決が確定し、「差別されない権利」の侵害が認められた。



▲講師：宮崎勝一氏

2018年佐賀県の高校生がネットで「復刻版 全国部落調査」のPDFを入手し、三冊を印刷製本、2021年1月にメルカリに出品し、高額で落札されたことを、唐津市の職員が発見し、取引中止させるという事件が発生。高校生は悪用されるという認識が全くなく安易な気持ちからだった。

インターネットが身近になった今こそ、インターネットの怖さも学ぶ必要があります。

防災道の駅あさじ

千葉県市川市

1月15日に千葉県市川市議会の皆さんが、「防災道の駅あさじについて」をテーマに本市の本庁舎に視察に來られ、5階委員会室で担当課職員より本事業の説明を行いました。

ジオパーク・サウナに視察受け入れ

高知県宿毛市

1月22日に高知県宿毛市議会の皆さんが、「サウナのまち宣言によるまちづくりについて、ジオパーク活用による地域振興について」視察に來られました。

担当課職員より本事業の説明を行った後、現地視察を行いました。

訂正とお詫び

議会だより「声のかけ橋」93号の18ページ「議会活性化委員会視察の報告に記されている県名に誤りがありましたので、訂正しお詫びします。」
【誤】茨城県
【正】茨城県

議会日誌

1月

- 14日(水) 第16回議会広報編集特別委員会
- 19日(月) 第1回議会運営委員会
議案学習会
- 26日(月) 第1回臨時会
議員研修会（人権研修）
第2回議会運営委員会
産業建設常任委員会
- 29日(木) 第9回議会活性化委員会

2月

- 4日(水) 産業建設常任委員会（認定農業者連絡協議会との意見交換会）
- 9日(月) 第10回議会活性化委員会
- 13日(金) 全員協議会
- 17日(火) 総務常任委員会（所管事務調査）
- 20日(金) 第3回議会運営委員会
議案学習会
シニアクラブ豊後大野連合会との意見交換会
- 27日(金) 第4回議会運営委員会
第17回議会広報編集特別委員会

3月

- 2日(月) 第1回定例会開会
- 9日(月) 本会議（一般質問）
- 10日(火) 本会議（一般質問）
- 13日(金) 本会議（議案質疑）
- 16日(月) 総務常任委員会（付託議案審査）
厚生文教常任委員会（付託議案審査）
産業建設常任委員会（付託議案審査）
- 18日(水) 予算特別委員会
- 19日(木) 第11回議会活性化委員会
予算特別委員会
- 23日(月) 予算特別委員会
- 25日(水) 第1回定例会閉会
第6回議会運営委員会
第18回議会広報編集特別委員会

児童・生徒の思いを紹介

満開に咲かせ、四つの花

私たちの学校、三重東小学校の自慢は4つの花の取組となかよし班（縦割り班）活動です。

四つの花とは「あいさつの花・安全の花・がんばりの花・思い合いの花」のことです。私たちは、この4つの花を満開にさせ、三重東小学校をより良い学校にしようと取り組んでいます。

なかよし班活動では、フラワertime（人間関係づくりプログラム）や掃除を一緒にしたり、お店集会やスポーツ大会、運動会などの取組をしています。

他の学年との交流をたくさんすることで、全校のみんなが仲良く、笑顔で過ごすことができます。

三重東小学校は、この2つの取組を続けて、さらに笑顔があふれる学校をめざしてがんばります。



三重学園三重東小学校6年

ゆみさき 弓崎 祐輝
もり 森 勇進
かとう 加藤 ころろ
いちのみや 一ノ宮 葵
こうじな 神志那 花愛

(写真左から)

発行：大分県豊後大野市議会
編集：議会広報編集特別委員会

F 879-7198 大分県豊後大野市三重町市場 1200 番地
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-8101

WEBでもご覧いただけます。豊後大野市議会



編集後記

〜気候変動と私たちの未来〜と題した、豊後大野市ジオパークシンポジウムに参加しました。「温暖化は私たちの想像以上に深刻で、そして自分自身も原因の一部である。」講師の大岩根尚氏の言葉です。自分自身の日常や行動を見つめ直す良い機会となりました。私たちの「議会だより」も皆さんの気づきの一助となれるように、情報の整理、新しい視点を提示してまいります。(佐藤 昭生)

うまくいかない日も、いい日！

私は生徒会長を務めました。この半年間、生徒会長として活動する中で多くの経験をしました。正直、思うようにいかずに悩むことや、大変だと感じる場面もありました。しかしその分、行事で仲間の笑顔を見ることができた時や、協力して取り組み、行事等を成功させた時には、大きなやりがいを感じました。また、大野小中学校では、挨拶を大切にしています。後期生徒会でも、先輩方から引き継いだ「グータッチ挨拶」に取り組んできました。みんなとグータッチ挨拶を続けていく中で、自然と笑顔や会話が生まれる場面も増え、私自身も嬉しかったし、楽しかったです。



大野小中学校中学部9年

きら 吉良 みさき 美咲

生徒会の活動は決して一人でできるものではありません。ここまで続けてこられたのは、生徒の皆さん、先生方、そして共に活動してきた生徒会のメンバーの支えがあったからです。本当にありがとうございました。この経験を通して、協力することの大切さや、人とのつながりの温かさを学びました。これから大野小中学校生徒会をさらに活気ある場所にしていくために、生徒会一同、全力で取り組んでいきたいと思えます。

※原稿は3月に提供していただいたもので、学年は現在のものです。

議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は

6月11日に開会予定です。

広報編集特別委員会

委員長	原田 健蔵
副委員長	三代 政彦
委員	後藤 雅克
委員	佐藤 昭生
委員	工藤 秀典
委員	赤嶺 信武



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。